

インドネシア水道に係る情報収集 No. 190102W

検索サイト	Google	実施日	2019/01/14	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL: https://www.borgenmagazine.com/plastic-pollution-and-how-it-affects-countries/					
標題：Plastic Pollution and How It Affects Countries					
<p>内容： 題目；プラスチック汚染と各国に与える影響</p> <p>プラスチック及びマイクロプラスチック（MP）による海洋汚染の実態と対策について紹介。</p> <p>☆マイクロプラスチック；5m/m以下の硬質の微小なプラスチック粒で、プラスチックが長年にわたり分解されて生成する。魚類に摂取されたのち、最終的に人間の食卓に上り、人体に悪影響を及ぼす。</p> <p>MP 汚染上位3国とその現状（1位中国、2位インドネシア、3位フィリピン）</p> <p>① 中国；河川、海域の調査結果→魚類および飲料水に影響；MPに付着した微生物が有害物質を生成し、魚類に病気を引き起こし、地域の野生生物や水道水源に悪影響を及ぼす。内湾から検出された微生物の中には、消化器に悪影響を与える細菌もあった。</p> <p>② インドネシア；海域のみでなく河川も汚染。プラスチックは安価なため、使い捨て食器類からテーブルや椅子にまで幅広く使われている。</p> <p>→河川の水流を詰まらせ、食料や水の供給を阻害し、埋立地で大気や地下水に有害物質を放出する。</p> <p>③ フィリピン；使い捨てプラスチックの普及（包装用小袋など）</p> <p style="padding-left: 40px;">政府のプラスチック汚染に対する関心の欠如。→ごみ収集のシステムない。</p> <p>各国の取り組み</p> <p>① 中国；廃棄物の輸入禁止。再生可能プラスチックへ移行。</p> <p style="padding-left: 40px;">ゴミの分別の義務化；46の都市で2020年までに達成。</p> <p>② インドネシア；企業および公共機関によるプラスチック廃棄物削減が必要との教育を実施。</p> <p style="padding-left: 40px;">理由；プラスチック汚染に対する意識の欠如は、政策対応を遅らせるため。</p> <p>③ フィリピン；小都市であるサンフェルナンドにおいてプラスチックゴミ削減システムを導入し成功している。水の汚染だけでなく、市の財政や貧困層の住民にも恩恵。</p> <p>結論；プラスチック汚染の現状と、削減の方法について人々を教育する事→汚染削減のKey！</p> <p style="padding-left: 40px;">地方自治体を参加させる事で、プラスチック代替品や廃棄物管理システムに関する法律を将来制定することができる。</p> <p style="padding-left: 40px;">中国、インドネシア、フィリピンもプラスチックごみ削減方法模索中。→未来への希望あり。</p>					
備考					